

青少年 いわて 3 2019

トピック

- 社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー
- 親子料理教室
- 平成 30 年度事業カレンダー
- 子ども・家庭・地域に関する交流セミナー
- ボランティア情報交流会



第 4 回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー すてきな発達障害に育てる～いくつかの実例とともに～



「発達障害とのすてきな向きあい方・育て方を考える」として実際に子ども達に関わる活動に携わる方々を対象に、現場での子ども達との向きあい方の参考となるよう、全 4 回の連続講義形式のセミナーを計画、今回、その第 4 回目となる講演会を開催しました。

第 1 回～第 3 回では紫波町のみのく療育園の川村みや子氏や樋渡朗子氏、紫波さぶりの細川恵子氏を講師に迎え「ペアレントトレーニング」について概要やトレーニングのポイントを実践形式で学びました。

第 4 回目は、国立障害者リハビリテーションセンターの加藤潔氏を講師に迎え、発達障害の方の『適応』と『順応』について、「家族を支えるためのいくつかの視点」、「周囲を支えるためのいくつかの視点」、「本人を支えるためのいくつかの視点」の 3 つの視点に分けて実例をふまえたお話をいただきました。（講演要旨については 2P をご参照ください）

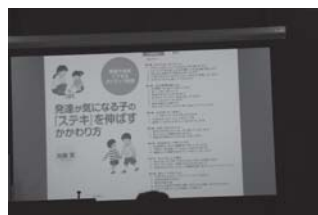
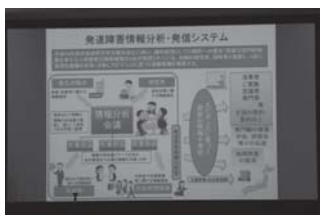
日 程 平成 31 年 2 月 20 日（水）
会 場 アイーナ 8 階 804A 会議室
参加者 青少年育成関係者等 54 名



県民会議佐藤勝会長には平成 31 年 2 月 15 日に逝去されました。故佐藤会長は平成 27 年から理事・副会長、平成 29 年から会長を務められ、青少年の健全育成に貢献されるとともに県民会議の運営に尽力されました。

ここに哀悼の意を表し、謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

青少年育成活動について、引き続き皆様からの御指導・御支援をお願いいたします。



毎月第 3 日曜日は いわて家庭の日

岩手県青少年育成県民会議では、青少年を守り育てる運動として『いわて家庭の日』を主唱しています。

推進協力：岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部

すてきな発達障害に育てる～いくつかの実例とともに～

講演要旨

適応と順応

講師 加藤 潔 氏 (国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報支援センター 発達障害支援推進官)

- 「適応」と「順応」は異なる概念
 - ➡「適応」は【本人が変わる・周囲が変わる】のどちらのアクセスでも可能だが、「順応」は【本人が変わる】のアクセスしか道がない。
- 本人が変わるのは本人次第なので、周囲が変わる方が手っ取り早い。
 - ➡周囲が変われば本人も変わっていくことが多い。
- 早め早めの介入や教示で「先手を打つ」。
 - ➡本人には未体験のことが多く、周囲のフォロー体制が必須。
- 後手に回った場合は「同点をねらって」挽回策を講じる。



よりよい適応のために～家族を支える～

- 先手を打つための「早期発見」・「早期療養」
- 親の「発達が気になる子の親として頑張りたい」という心情が周囲には中々伝わらない。
 - ➡「発達が気にならない子の親でいられるならそうしたい」と思う本能が出てくることもある。
 - ➡保護者への支援が重要な視点となる。
- 「早期発見」のためのアセスメントツールとして『M-CHAT (1歳半検診以降で使用)』や『PARS-TR (3歳時検診以降で使用可能)』を活用。
- 保護者支援として「ペアレントメンター」・「ペアレントプログラム」・「ペアレントトレーニング」。
 - ➡「先手を打つ」ため国の施策として推奨されているが、この“流れ”に乗れない親もいる。
 - ➡あわてずゆっくり、次のチャンスを待つぐらいでいい (投げ出さないけど、抱え込まない)。

よりよい適応のために～周囲を支える～

- 「早期療養」の内容として、「人と同じものを見る」・「人に伝えるといいことがあるなあ」と思えるような関わりやコミュニケーションを仕組んでいくことを意識したい。
- 学齢期に「先手を打つ」ための視点は「学齢期は幸せな大人の人生を送るためにある」。
 - ➡「とりあえずこのくらい大丈夫」を味わうことが大切な時期。
- 乳幼児期と学齢期はできることが増えるが、新たな心配ごとや問題が生じることもある。
 - ➡「そういう悩みが持てる喜びを得た」と思いたい (後先考えずに、今伸ばせそうなことは伸ばす)。
 - ➡「理解と環境の合わせ技」で、人生を守っていく。
- 成人期に仕事が続かない場合、「働く意味」を知り、「報酬」があることを教え、「仕事は続けるものである」と教えることが必要。
 - ➡報酬へのモチベーションがあったり余暇の過ごし方を整理したりすれば働ける可能性は高まる。

よりよい適応のために～本人を支える～

- 周囲の人が変わっても、一人でできることを重視 (集団への対応も可能になる)。
- 「報酬」のためにがんばる力を育てていくことも大切になる。
- 前向きになることができずにいる場合は、「ほめる」等でエネルギーを注入 (支援者も自分も)。
 - ➡相手の印象に残るように「ほめる」。
- 人とうまく付き合うには「好かれなくてもいい、嫌われなければいい」
- 「感情はなくさない、ふるまいを増やす」
 - ➡感情自体をコントロールするのではなく、あいさつや感謝、相槌等のふるまいを増やす。

親子料理教室～旬な食材で作ろう！簡単ホームパーティー料理～

アイーナ指定管理者との共催により、3月2日(土)に小中学生の親子10組25名の参加で「親子料理教室」を開催しました。講師は、ローフードマイスター1級の川村敦子さんにお願いし、県産食材をつかったホームパーティー料理をお手伝いのボランティアスタッフ3名と一緒に楽しく作りました。

メニューは、豆腐のポンチキ(ドーナツ)、ほうれん草たっぷりグラタン、りんごと季節野菜のナムルの3品で、4班に分かれて調理をしました。作る時は、子ども達が慣

れない手つきで、野菜を切りました。また、材料を入れる時は、分量を確かめながら慎重に入れていました。お父さんやお母さんは、難しいところだけお手伝いをして子ども達を見守っていました。

初めは緊張していた参加者同士も次第に打ち解け、皆で食べる頃には、一緒に写真を撮ったり、おしゃべりをしていました。いろいろな人とふれあえて楽しかったという感想もあり、子ども達は皆で協力し合って作るという貴重な体験をしたのではないのでしょうか。



日程 2019年3月2日(土)
会場 アイーナ6階 調理実習室
参加者 親子10組25名
講師 川村 敦子 氏
・ローフードマイスター1級
・マンデーキッチン主宰

『いわて家庭の日』絵画・ポスターコンクール

募集 6/1 Fri ~ 9/6 Thu
選考 9/10 Mon

県内の児童・生徒から『いわて家庭の日』絵画を募集し、全 145 点の応募があり、選考委員会で 12 点の優秀作品を選考しました。

青少年育成セミナー

7/5 Thu ~ 2/20 Wed
アイーナ

青少年関係団体が活動や取り組みについて意見・情報交換を行いました。その後、子どもの貧困に対する講演を開催しました。

社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

8/25 Sat ~ 9/1 Sat ~ 9/17 Mon ~ 2/20 Wed
アイーナ

発達障害について、ペアトレの手法を学ぶ実践形式の講習会や支援に関する講演会を連続講義形式で開催しました。

相談事例検討会

9/25 Tue ~ 1/11 Fri
アイーナ

県内の相談事業に携わる関係者が集まり、専門家による講演や意見交換など、事例に基づいた研修会を開催しました。

『いわて家庭の日』絵画・ポスターコンクール北上展

11/6 Thu ~ 18 Sun
さくら野百貨店弘前橋

入賞作品及びコンクールに応募された全ての作品の展示会を開催しました。

子ども・家庭・地域のための交流セミナー

2/2 Sat
釜石地区合同庁舎

幼児期の生活環境や居場所づくり、ネットトラブルなど、子どもの生活リズムについてパネルディスカッションを行いました。

県民会議通常総会・表彰

6/13 Wed
アイーナ

通常総会の席上で、優れた活動を行っている青少年育成活動団体や青少年育成指導者の表彰を行いました。

情報メディア対応サポーター育成セミナー

7/21 Sat
アイーナ

青少年のネット・スマホ利用について青少年を守るためのサポーターを育成する研修会を開催しました。

わたしの主張岩手県大会

9/14 Fri
田園ホール

県内各地の地区大会から選出された 18 名が将来の希望や日常で感じていることなど、それぞれの思いを発表しました。

『いわて家庭の日』絵画・ポスターコンクール盛岡展

10/1 Mon ~ 14 Sun
アイーナ

入賞作品及び盛岡近郊、県北地域から応募のあったコンクールの応募作品の展示会を開催しました。

『いわて家庭の日』絵画・ポスターコンクール入賞者表彰式

11/18 Sun
北上市民交流プラザ

コンクールの入賞者に対する表彰式を行い、賞状と記念品を贈呈しました。

親子料理教室

3/2 Sat
アイーナ

小・中学生の親子を対象に岩手県産の食材を使ったホームパーティー料理作りに挑戦しました。

復興バザー

6/16 Sat ~ 10/8 Mon
アイーナ

震災復興や被災地支援を目的としたバザーにボランティアと一緒に参加し、雑貨等の販売を行いました。

青少年を非行・被害から守る県民大会

7/24 Tue
アイーナ

青少年の非行・被害防止運動の推進を目的に講演会、県警音楽隊の演奏、意見・作文の発表、大会決議採択を行いました。

親武ヶ原まつり

9/15 Sat
青少年会館隣接地

ボランティアと一緒に手作り工作コーナーを出店し、多くの子ども達がアクアリウムづくりを体験しました。

いわて親子フェスティバル

10/8 Mon
アイーナ

ボランティアと一緒に企画から運営までを行い、多くの親子が工作や体験等で楽しみました。

いわて希望塾

11/23 Fri ~ 25 Sun
県立陸中海岸青少年の家

県内の中学校から集まった中学生 129 名が 2 泊 3 日の宿泊研修を行い、震災復興や地域づくりについてまとめ、発表しました。

ボランティア情報交流会

3/2 Sat
アイーナ

今年度活動に参加したボランティアと今後に向けた情報交換及び交流会を行いました。

通年実施事業

- ボランティア活動の促進
- 青少年育成地域活動支援
- 青少年育成講師派遣
- 情報メディア「出前」講座
- 青少年なやみ相談室
- 『いわて家庭の日』普及拡大
- 情報発信（SNS/HP/広報紙）
 - ◆ 青少年いわて（9月・12月・3月）
 - ◆ アイーナインフォメーション（毎月 20 日）
 - ◆ 『いわて家庭の日』カレンダー（毎月 1 日）



情報発信中

『ブックマーク』や『フォロー』、『いいね』で最新情報をチェック!!
ホームページ

青少年活動交流センター
岩手県青少年育成県民会議

<http://www.aiina.jp/seishounen/index.html>
<http://www.ipayd.server-shared.com/>

SNS



センター fb
@yacaiina



県民会議 fb
@iwateyouth



センター Twitter
@ya_center



センター LINE
@vzi4606t



平成 30 年度「釜石市 PTA 連合会研究発表大会・釜石市教育振興運動協議会集約集会」

日 程 平成 31 年 2 月 2 日 (土)

会 場 沿岸広域振興局 (釜石地区合同庁舎)

参加者 青少年育成関係者等 108 名



釜石市において、PTA 関係者や地域、教育関係者が集まり、子ども達の地域活動についての発表と、「子どもの生活リズム」をテーマにパネルディスカッションを開催しました。

東日本大震災で母と家を失った釜石市立鶴住居小学校 5 年の藤原菜穂華さんが、恩返しをしたいと北海道地震の被災者を支援する募金の呼びかけをした活動について報告いただきました。藤原さんをずっと見守っている「三陸ひとつなぎ自然

学校」の柏崎未来さんと共に、「放課後子ども教室」を始め様々な活動の様子をしっかりと発表していました。

その後のパネルディスカッションでは、3 人のパネリストがそれぞれ、「子どもの居場所づくり」、「幼児期から生活リズムを整える重要性」、「青少年が関わるネット・スマホのトラブル」について発表。コーディネーターにより、内容を丁寧に掘り下げていただきました。子育てに関する身近な話題であり、終了後のアンケートからも「勉強になった」「大人がまず何とかしなければならぬ」「新しい情報を得ることができた」等の意見が多く寄せられて、充実した交流セミナーとなりました。



パネルディスカッション 「子どもの生活リズムについて～子どもたちが生き生きと活動するために～」

コーディネーター 三 上 邦 彦 氏 (岩手県立大学社会福祉学部教授)

パネリスト 木 村 泰 雄 氏 (子ども地域よりあい広場「わっこの家 青山」所長・(特定非営利活動法人もりおかユースポート))

坂 本 洋 氏 (一般社団法人岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会会長・学校法人内丸学園認定こども園盛岡幼稚園理事長)

能登谷 拓 氏 (公益社団法人岩手県青少年育成県民会議専門職員)

ボランティア情報交流会

今年度活動に参加したボランティアが集まり、今年度の活動を振り返るとともに、卒業を機に岩手を離れるボランティアを祝う交流会を開催しました。

交流会ではボランティア手作りの桜餅を食べながら茶道を体験したり、ゼリーやポップコーン、綿アメを手に楽しく歓談し、交流を深め、今後の活動について決意を新たにしました。

日 程 平成 31 年 3 月 2 日 (土)

会 場 アイーナ 6F 調理実習室

参加者 平成 30 年度登録ボランティア 11 名



青少年ボランティア募集

誰かのチカラになる→あなたのチカラに!



- ・子どもと関わることがしたい!
- ・色んな世代の友達を作りたい!
- ・ボランティアについて知りたい!
- ・色々経験したい!

みなさんのはじめの一歩を応援します!!

センターのイベントで子どもたちと一緒に活動する『ボランティア』を募集しています。興味のある方はセンターまでご連絡ください。※ボランティア保険にはセンターで加入します。

正会員・協賛企業募集

県民会議では新規会員及び協賛企業を募集しています。次世代を担う青少年の健全な育成を共に目指しませんか。

1. 会 員 会員には、県内各地で開催するイベントやシンポジウム等にご案内するほか、青少年に関する各種資料をお送りします。
2. 協賛企業 県民会議HPバナー広告、広報紙「青少年いわて」への広告、県民会議封筒への広告を有償で掲載させていただきます。



区 分		年会費
正会員	個 人	3 千円
	団 体 (法人)	6 千円
賛助会員	個 人	一口 12 千円以上
	団 体 (法人)	一口 25 千円以上

青少年育成地域活動支援事業助成

対象団体 青少年育成市町村民会議、青少年育成団体、青少年団体・グループ、PTA その他の団体

対象事業 青少年の健全育成を目的とする体験・交流・実践活動や、家庭や地域における青少年の育成をテーマとする研修会・講演会等の活動で、10 人以上の参加者により開催されるもの。

募集期間 2019 年 4 月 1 日 (月) ～ 5 月 31 日 (金)

助成金額 1 件あたり 5 万円を上限とし、予算の範囲内で交付します。

◇申請方法等、詳細についてはホームページで随時お知らせしていきます◇



毎月第 3 日曜日
いい日
どんな日
家庭の日
家族そろって食事

青少年が健やかに成長するには、家庭の力が欠かせません。子どもと向きあう、家族みんなで過ごす、家族そろって食事をする。

「いわて家庭の日」は家族を大切にし、実践する日です。